技術士 2 次試験に合格して

平田　智子
（ひらた　さとこ）

勤務先
株式会社　福田水文センター
環境水工部
〒001-0024　札幌市北区北 24 条西 15 丁目 2-5
TEL　011-736-2371　　FAX　011-736-2393
E-mail　s-hirata@f-suimon.co.jp

■ 専門：環境部門（環境影響評価）

「技術士」という資格があることを知ったのはたしか大学 3 年生の時でした。私が所属する動物生態学・行動学の研究室に建設コンサルタントに就職した先輩が遊びに来てくださったときのこと。先生と談笑されていたなかで「技術士」という知らない言葉が耳に入ってきました。

「大事な資格だからなあ。」

先生がそうおっしゃっていたことが頭に残りました。まさか自分がこの資格に向き合うことになるとは、その時は夢にも思いませんでした。

というのも、私は学部・修士課程を卒業後ずっと塾講師の仕事をしていたのです。生徒さんの合格や成績が上がることに、やりがいも感じていましたし、この仕事をこのまま続けていくのだろうと思っていました。

講師の仕事について 7 年目、好きだった英語に特化した仕事に就きたく、転職活動をすることに。仕事を探していたときに、ふと目にとまった建設コンサルタント環境部門の求人。当時の私は英語を使う仕事がしたいと思いながらも、両親に修士に行かせてもらったのに、専門を生かしきれた仕事につけていないことをずっと申し訳なく思っていました。その気持ちに見て見ぬふりをして、英語がやりたいだなんて私は逃げているのではないだろうか。でも経験もないのに、30 歳を過ぎた人間を雇ってくれるわけがないのでは。

「だけど、やってみたい。」

劣等感やだめなのではないかというマイナスな考えを抱えつつも、それを超えてやってみたいという気持ちが芽生えていました。

応募して入社が決まったときは、嬉しかったです。両親をはじめ、学生時代の恩師である先生方も驚きとともに喜んでくださったのを覚えています。

初年度から主に環境影響評価法（以下法アセス）にもとづく風力の環境調査に従事させていただきました。右も左もわからない中、法アセスの経験を積ませていただいたことは、しんどいながらもありがたかったです。特に他社コンサルさん数社と合同で進めた風力の法アセス業務に携わらせていただいたことは、私にとって筆舌につくしがたいほどの良い体験でした。今の自分を支える大切な経験のひとつです。

技術士 1 次試験は建設部門で受験することを推奨され、初年度は落ちましたが 2 回目で合格しました。その後今の会社に転職し、受験資格を得た最初の年は建設部門（建設環境）で受験し筆記で落ちました。

2 回目は上司から環境部門（環境影響評価）を受けることを勧められました。筆記に合格してから口頭試験までは、階段を登っていく実感をつかめないようなつらい時間でした。しかし、外部の勉強会や特に会社の皆さんから手厚いご指導・ご配慮・励ましをいただき、絶対に落ちるわけにはいかないと決意し、その願いがかないました。試験を通して弱さを含めて自分を晒し、それに丁寧にコーチングをしていただいたことに心から感謝しています。

「こんなにスタートが遅いのに何ができる？」「すぐ辞めるよね。」

「向いてないから違う仕事についたら？」

そんな言葉を何度言われたことでしょう。言わせている自分がいるのです。そんな自分から脱却したいと、ひとつの目標である技術士を取得しました。まだまだなりたい自分とは程遠いのが現実です。これからも、能力向上に向けて頑張っていきたいと思います。とにかく合格は本当に嬉しいものでした。重ね重ね感謝の気持ちでいっぱいです。